



2020年 8.30 第1366号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444 日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

7月豪雨災害 江の川治水事業費の大幅増額を

「無堤」地区早期解消 待ったなし

中国地方整備局 大平 前衆議院議員、向瀬 西部地区委員長らが申し入れ



申し入れる参加者(12日、広島市・中国地方整備局)

県西部の江の川が豪雨で氾濫(7月14日)し、2年前の西日本豪雨のときと同じ地域が浸水した問題で、日本共産党県委員会と大平よしのぶ前衆議院議員は12日、広島市の国土交通省中国地方整備局を訪れ、堤防整備など早期の治水対策を求めました。(2面関連)

域内の移転などに水防事業と同等の補償▽支流堤防整備とバックウオーター対策、内水排除のためのポンプの常設化を求めました。一行は「何度でも水に浸かり、このままでは地域もまとも壊れる」となどと訴え。大平氏は川

隠岐 4町村長らと懇談

大平 前衆議院議員「国政に声とどける」

日本共産党の大平よしのぶ前衆議院議員は20、21の両日、隠岐諸島の全4町村を訪れ、首長らと懇談しました。知夫村の平木伴佳村長は「人口は4年間で40人増えていきます。子どもが昨年9人、その前年も9人生まれ、保育所を建設中です。就学前の児童は36人います」と語りました。海士町の吉元操

副町長はコロナ問題で「現場の課題は病院がある島と、ない島でも違い、千差万別。地域の要望を真に受け取り、現場に任せてほしい」と話しました。西ノ島町の升谷健町長は、2017年施行の有人国境離島法で始まった航路と航空路の運賃助成が島民に限られていることにふれ、「島外を含む」全員が対象と思っていた。交流人口を増やす



日本による侵略戦争と植民地支配の終結から75年を迎えた15日、日本共産党の尾村利成県議、岩田剛東部地区委員長、松江市議団、来春の市議選に挑む舟木けんじ、たちばなふみ両市議予定候補は市内の大型商業施設前で「不戦の誓い」の決意を述べました。(写真)

75回目の終戦記念日 松江 尾村県議、市議団ら訴え

尾村県議は、日本政府が過去の侵略戦争と植民地支配の過ちと向き合い、真剣に反省する立場に立つことが重要だと指摘し、「侵略戦争に命がけて反対を貫いてきた党として憲法9条を守り生かし、平和な日本を子どもたちに手渡すために全力を尽くす」と訴え。橋祥朗、吉儀敬子、田中はじめの各市議はコロナ危機のもと安倍政権がF35戦闘機など兵器を爆買しようとしていることを批判。「戦争に つながる軍事費を削ってコロナ対策に」などと訴えました。

コロナ減免制度の周知徹底を 県議団が県に申し入れ

新型コロナウイルスの影響で収入が3割以上減った国保加入世帯に対する保険料の減免申請が極めて少ない問題で、日本共産党県議団は7日、県に対し、国保や国民年金や介護保険、後期高齢者医療などの保険料・税の減免制度の周知徹底、県民生活を守る緊急対策を進めるよう要請しました。7回目国保加入世帯に対する

ため、島外の人も対象に」と求めました。隠岐の島の町田池田高世偉町長は、「コロナの影響について「宿泊業を中心にした対応が必要」と訴えました。月末時点)だと指摘。「貸し付けの多くは国保加入世帯の自営業者、非正規労働者であるのに、国保の減免申請が少ないのは制度が十分に周知徹底されていないからだ」と述べました。

鼓動

「ジェンダー平等は、男性にも、女性にも、すべての人に関わる問題です。ジェンダーは時々の支配階級が政治的につくり、歴史的に押し付けてきたもの。『つくられた』ものだから『変えられます』」16日、党女性後援会が開いたオンライン学習会で党ジェンダー平等委員会事務局長の坂井希さんの話に学ばされた。私たちの中にある「男(女)」はこうあるべき」という意識を乗り越える努力が求められていること。そして日本がいかにかにジェンダー後進国なのかという現状も：▼とりわけ深刻なのが「政治」だ。日本のジェンダーギャップ指数は「政治」分野では世界153カ国中144位。坂井さんが紹介した国際会議の写真では相手(EU)側は女性が多いのに、日本側は男性ばかり。昨年の参院選前の党首討論会で選択的夫婦別姓の導入に、他の党首全員が「賛成」の挙手をする間で、独り手を上げない安倍首相。あきれるばかりだ▼他国ではジェンダーの視点で政府が努力している。フランスやイギリスでは、企業が男女賃金格差の指標を把握することを義務づけ、是正にとりくまない企業にペナルティーを科して効果を発揮。イタリアでは女性たちが「私たちに発言権を」と書いたマスクを着けた写真をSNSで一斉に投稿。その10日後に政府は、男性ばかりだったコロナ対策の作業部会に女性を加えた▼生きづらさ、差別・分断を乗り越え、誰もが生きやすい社会、ジェンダー平等社会の実現へ、これからは学び全力でとりくみたい。何より、閣僚からもセクハラ発言が飛び出すような政権を一日も早く変えていきたい。(後)